

# 令和8年産良質米づくり研修会

## 飼料用米新品種「東北244号」について

宮城県古川農業試験場 作物栽培部  
2026.7.13

### 次第

- 1 品種開発の背景
- 2 「東北244号」の特性概要
- 3 耕種概要・生育ステージ
- 4 生育量・収量構成要素・追肥の目安
- 5 まとめ、栽培上の留意点

# 1 品種開発の背景

これまで ⇒

飼料用米多収品種（晩生）として「東北211号」を作付推進

「東北211号」⇒

いもち病真性抵抗性遺伝子 *Rib* を有し、普及当初は葉いもちに対して一定の抵抗性を示していたが、普及面積の拡大に伴い *Rib* を有する品種を侵すレースによる発病が目立ち始め、被害が拡大する事例もあり、普及面積が伸び悩み

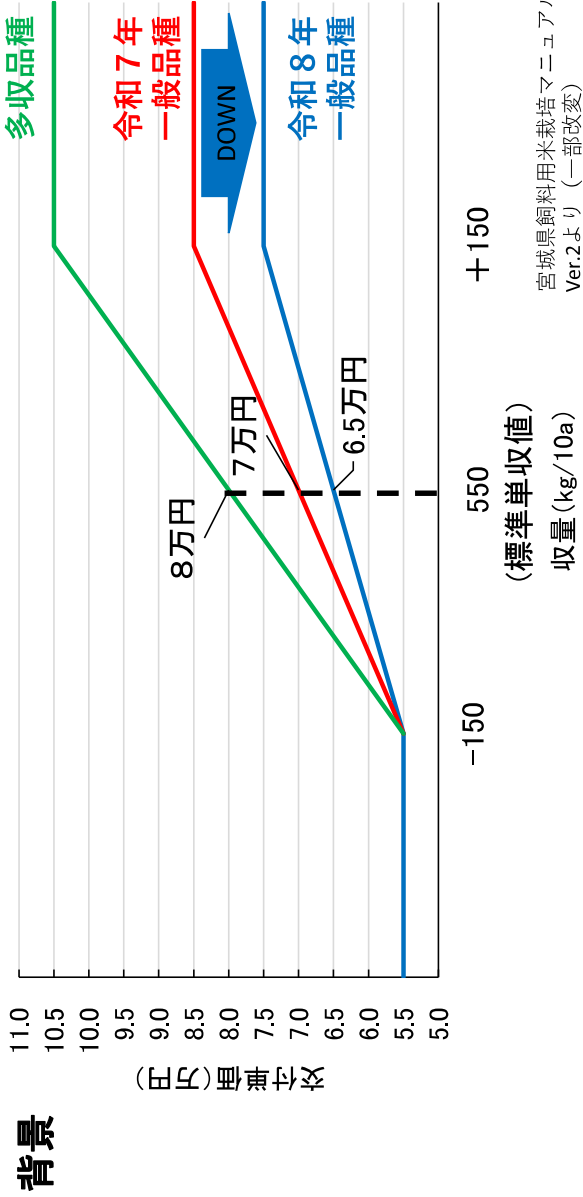
育種目標 ⇒

いもち病ほ場抵抗性の強い晩生で極多収の飼料用品種の育成を目標に品種開発

## 2 「東北244号」の特性概要

- ・宮城県では**晩生**の粳系統（「東北211号」とほぼ同じ熟期）
- ・耐倒伏性は「強」（「東北211号」と同程度）
- ・葉いもちは“かなり強”、穂いもちは“強”  
（いもち病圃場抵抗性遺伝子を保有し、「東北211号」から改良されている）
- ・耐冷性は「やや強」
- ・穂発芽性は「中」（「東北211号」と同程度）
- ・高温登熟耐性は「弱」

### 3 場内試験の背景と目的



- ・ 交付金満額：700kg【550kg（標準単収）＋150kg】
- ・ 一般品種の交付金は引き下げ、収益性確保には多収品種の導入が必要

目的：本試験では東北244号の700kg/10aを得るための収量構成要素の目安について検討

### 3 耕種概要（場内試験）

|           | 令和6年                         | 令和7年                        |
|-----------|------------------------------|-----------------------------|
| 播種日       | 4月23日                        | 4月22日                       |
| 移植日       | 5月15日                        | 5月14日                       |
| 移植苗の苗質    | 稚苗<br>（葉数：2.2、<br>草丈：12.9cm） | 稚苗<br>（葉数2.2、<br>草丈：12.3cm） |
| 栽植密度（株/坪） | 70                           | 60                          |

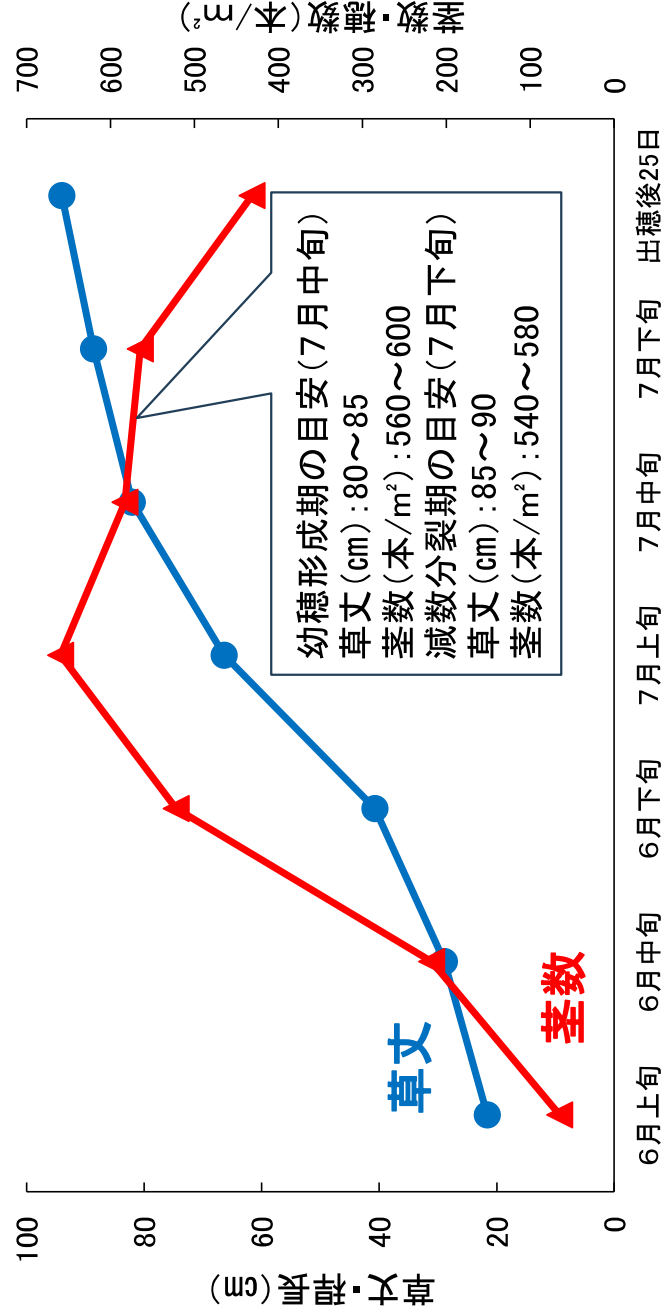
注）基肥は7kgN/10aで行った。

### 3 生育ステージ

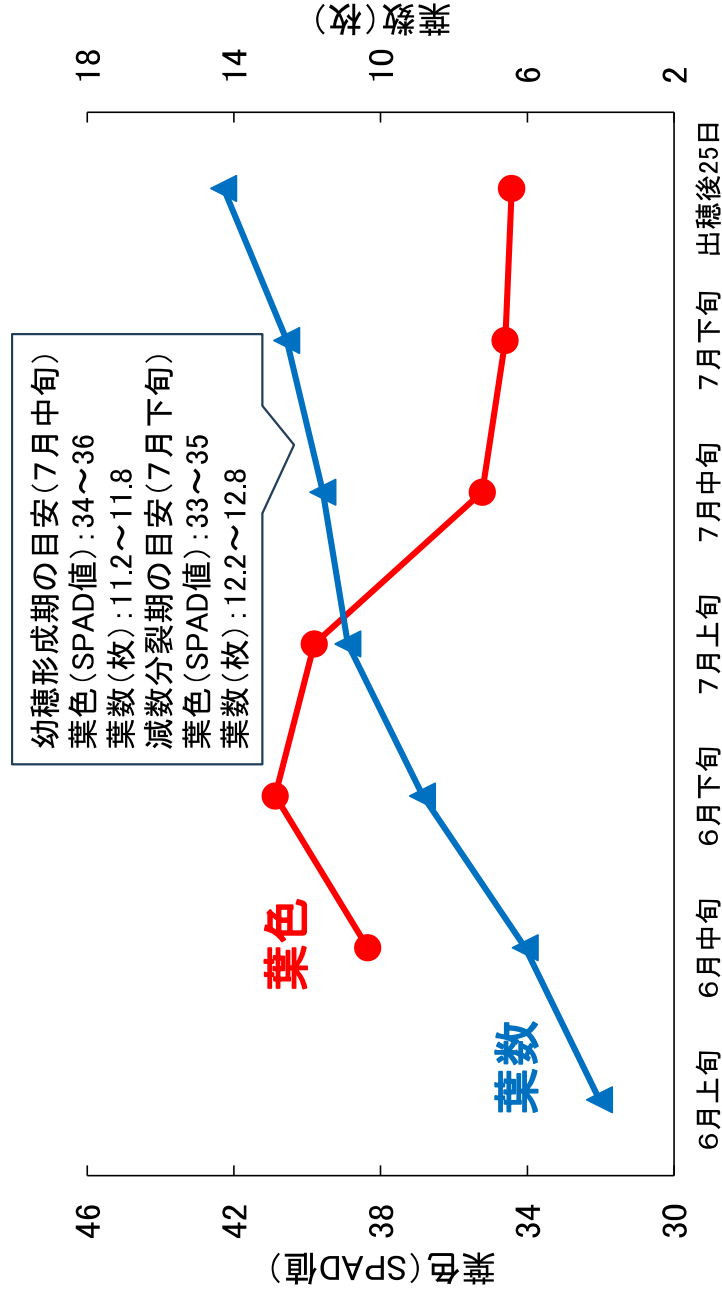
| 試験年度 | 品種     | 移植日  | 幼穂形成期 | 減数分裂期 | 出穂期  | 成熟期  |
|------|--------|------|-------|-------|------|------|
| 令和6年 | 東北244号 | 5/15 | 7/16  | 7/26  | 8/8  | 9/25 |
|      | 東北211号 |      | 7/13  | 7/23  | 8/8  | 9/25 |
|      | ふくひびき  |      | 7/9   | 7/19  | 7/30 | 9/9  |
| 令和7年 | 東北244号 | 5/14 | 7/15  | 7/26  | 8/8  | 9/22 |
|      | 東北211号 |      | 7/12  | 7/24  | 8/6  | 9/15 |
|      | ふくひびき  |      | 7/9   | 7/21  | 7/31 | 9/10 |

- ・ 5月中旬移植の場合、幼穂形成期が7月中旬、減数分裂期が7月下旬が目安

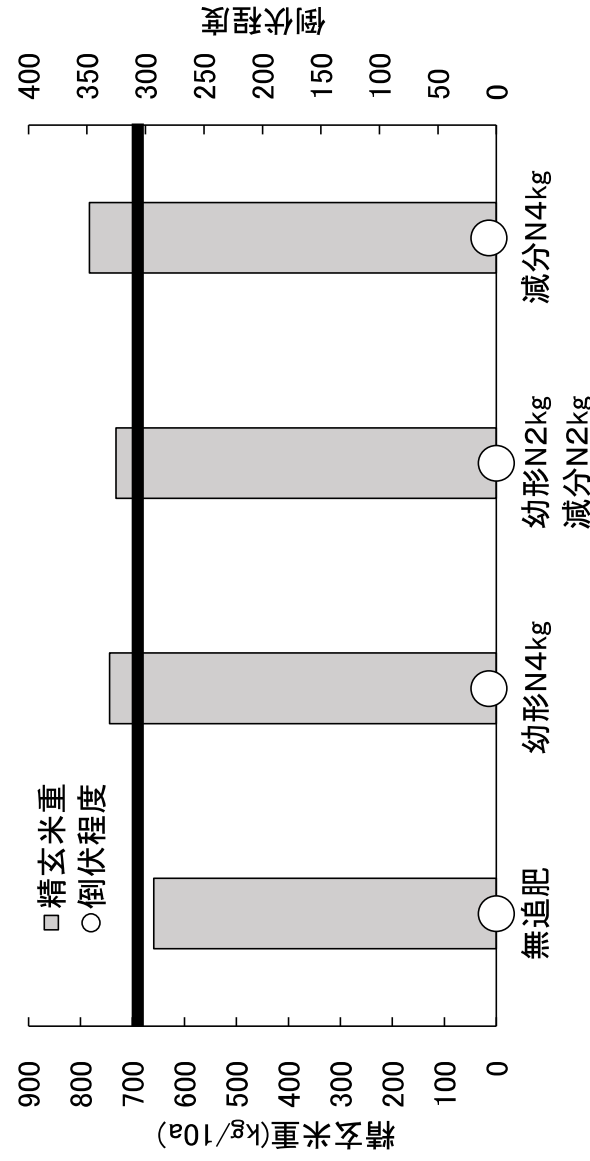
### 4 生育量の目安



## 4 生育量の目安



## 4 追肥量・追肥時期



注) 精玄米重は篩目1.7mmで調製

倒伏することなく目標収量が得られる追肥量は  
幼穂形成期または減数分裂期に**4kgN/10a**

## 4 収量構成要素の目安

| 10a当たり目標収量(kg)                               | 700     |
|----------------------------------------------|---------|
| m <sup>2</sup> 当たり穂数(本)                      | 410～480 |
| 一穂粒数(粒/本)                                    | 82～93   |
| m <sup>2</sup> 当たり粒数<br>(千粒/m <sup>2</sup> ) | 37～41   |
| 登熟歩合(%)                                      | 75～85   |
| 玄米千粒重(g)                                     | 25.0    |

注) 収量、玄米千粒重: 1.7mmで調製

## 5 まとめ、栽培上の留意点

- ・ 倒伏することなく目標収量が得られる追肥量は幼穂形成期または減数分裂期に4kgN/10a
- ・ 千粒重がひとめぼれの1.1倍、一般品種よりも播種量を割り増して播種
- ・ 穂発芽性“**中**”、適期刈取りに努める
- ・ いもち病は慣行防除、その他の病害虫についても慣行防除

飼料用米の栽培マニュアル  
についてはこちらから！



QRコード

〔宮城県 需要に応じた生産の推進HP〕